



なぞって練習

ただいたずらに政府の
威光を張り人を畏し
て人の自由を妨げんと
する卑怯なる仕方にて、
実なき虚威というもの
なり。今日に至りて
はもはや全日本国内に
かかる浅ましき制度、
風俗は絶えてなきはず
なれば、人々安心い
たし、かりそめにも政
府に対して不平をいだ
くことあらば、これを
包みかくして暗に上を
怨むることなく、その
路を求め、その筋によ
り静かにこれを訴えて
遠慮なく議論すべし。

■ふりがな（青空文庫のふりがなより）

- ・畏して【おどして】
- ・上【かみ】
- ・怨む【うらむ】